

● 各施策（案）の概算事業費

常磐地区市街地再生整備基本計画【全体計画】に掲げた各施策（案）の概算事業費は、次のとおりです。

なお、概算事業費は、現時点でのものであり、今後、さらに具体的な検討を進めていく中で、変更となるものです。

表. 常磐地区市街地再生整備基本計画に掲げる各施策案の概算事業費一覧

施策（案）		事業費
交流拠点施設・ 駐車場整備事業	駅前が「人と情報のたまり場」となり、たくさんの賑わいや新たな交流が育まれる場所となるよう、民間と公共の機能を複合的に配置しながら、施設内外で居心地の良い交流拠点を整備します。	約40億円
湯本駅前街区再編・ 駅前交通広場整備事業	交流拠点の整備にあたっては、一体的な空間の中で民間や公共の機能が配置できるよう、土地区画整理事業による土地利用の再編を行います。また、駅前交通広場は、快適性や安全性を高める環境を整備します。	約20億円
湯本駅前緑地・ 御幸山公園整備事業	駅前の公共空間である湯本駅前緑地および御幸山公園について、交流拠点との連続性を意識しながら、温泉観光地の玄関口として、シンボル性の高い魅力ある空間を整備します。	約 3億円
市営住宅 天王崎団地跡地利活用事業	土地区画整理事業の着手までの期間において、イベントの開催など、跡地の有効活用を行いながら、駅前への来訪機会の創出やまちづくりへの関心を高める取り組みを行います。	※ 1
にぎわい再生事業	交流拠点や滞留拠点の整備とともに、まちなかに多くの人に来てもらえるよう、空き店舗のリノベーション事業などを展開し、立ち寄りたいと思うお店や場所を増やす取り組みを進め、まちなかの回遊性を高めます。	※ 1
観光地域づくり事業	「温泉」や「フラ」など様々な魅力を持つ常磐地区における「いわき湯本温泉郷」の情報の見せ方や発信方法の工夫により、多くの人に魅力を知ってもらい、温泉地としてのブランドを高める取り組みを進めます。	※ 1
滞留拠点整備事業	駅前の交流拠点への支所機能移転後の敷地活用として、観光客をはじめ、地域住民も楽しめ、居心地の良い、「いわき湯本温泉郷」のシンボルとなるような空間を整備します。	※ 2
魅力ある街並み空間整備事業	地区の魅力を高める取り組みと連携しながら、さらなる温泉街の回遊性や消費の増加につなげる取り組みとして、夜間景観の演出などのルールづくりや無電柱化などの整備を進め、地域住民が誇りに思い、観光客が浴衣でそぞろ歩きできるような街並みを整備します。	約 5億円
公的不動産利活用事業	常磐市民会館や関船体育館などが立地する公有地について、駅前の交流拠点の整備後、地域住民生活の利便性や快適性の向上につながるよう、医療や福祉、商業などの日常サービスの立地に向けた検討を進めます。	※ 2

※ 1 1億円未満とされる概算事業費は未記載

※ 2 今後、民間事業者の提案によるものについては未定

● 概算工事費

交流拠点施設および駐車場整備の概算工事費は、次のとおりです。

なお、概算工事費については、現時点でのものであり、今後、さらに具体的な検討を進めていく中で、変更となるものです。

交流拠点施設および駐車場の概算工事費一覧

交流拠点施設 ※民間収益施設は含まない	延床面積 ▶ 約 4,900 ～ 5,620㎡	単価 ▶ 約 53万円／㎡	概算工事費 ▶ 約 26.0 ～ 29.8億円
駐車場	延床面積 ▶ 約 4,500㎡	単価 ▶ 約 10万円／㎡	概算工事費 ▶ 約 4.5億円

※ 上記工事費の単価は、建設物価調査会及び公共価格ドットコム資料によります。
 ※ 上記工事費には、公募に向けた業務費や用地取得費などは含みません。
 ※ 上記工事費には、民間機能の工事費は含みません。（公共機能のみ）
 ※ 上記工事費には、施設の維持管理・運営費は含みません。
 ※ 上記工事費は、消費税及び地方消費税10%を含めた金額です。
 ※ 上記工事費は、現時点での概算事業費になります。